

中央道渋滞ボトルネック検討WG

第5回資料

平成28年10月18日

目次

1. これまでの検討の経緯について
2. 相模湖付近（下り線）の渋滞要因の分析と具体的な対策（案）について
3. 調布付近（上り線）の交通状況について

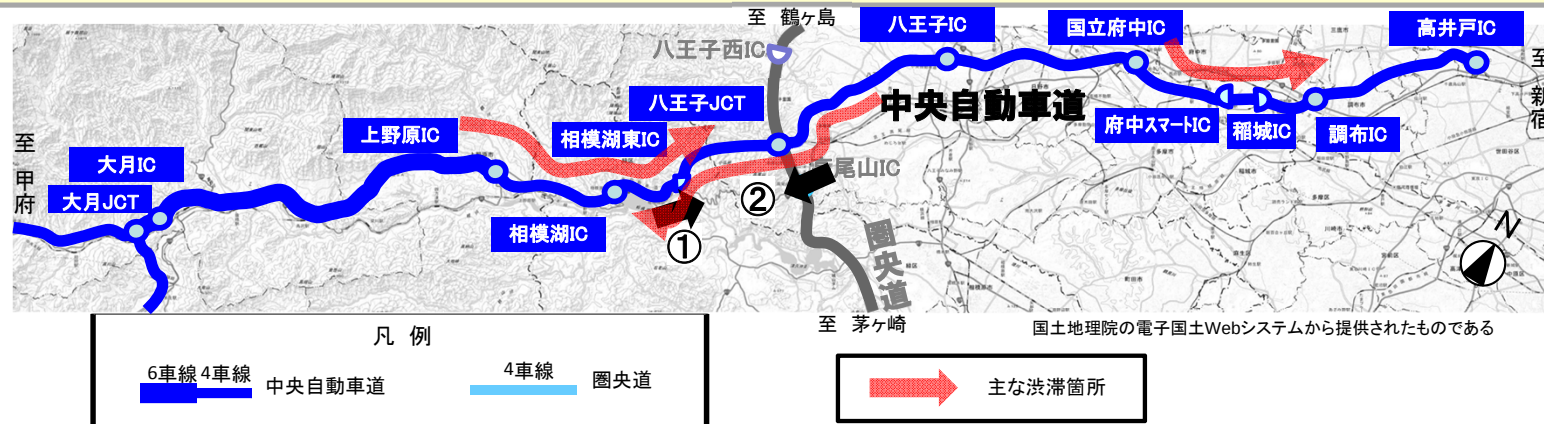
中央道（東京～神奈川区間）は全国有数の渋滞区間

- 我が国の暮らしや経済を支える大動脈である中央自動車道。特に東京都～神奈川県区間は全国でも有数の渋滞区間であり、高速道路の本来機能が発揮されていない。
- 調布付近は年間を通して、深刻な渋滞が発生。
- 小仏トンネル付近、相模湖付近、八王子JCT付近は、首都圏からの観光特性が強く、特に観光シーズンの休日を中心に深刻な渋滞が発生。

【①相模湖IC手前(下り線)】



【②八王子JCTから相模湖IC方面(下り線)】



○上り 調布～高井戸（調布付近）

全国渋滞ワーストランキング：第4位

平成27年(1～12月)の年間的高速道路の渋滞ワーストランキング(速報)

平成28年4月28日 記者発表資料(国土交通省)より抜粋

○上り 相模湖東～八王子JCT（小仏T N付近）

平成28年（GW期間） 最大渋滞長：32.0km

平成28年GW期間における高速道路・国道の交通状況(速報)

平成28年5月9日 記者発表資料(国土交通省等)より抜粋

○下り 相模湖～八王子JCT（相模湖付近）

平成28年（GW期間） 最大渋滞長：43.7km

平成28年GW期間における高速道路・国道の交通状況(速報)

平成28年5月9日 記者発表資料(国土交通省等)より抜粋

これまでの検討の経緯

H24.6
と
H24.12

首都圏渋滞ボトルネック対策協議会「対応の基本方針」の決定

- 特に渋滞が顕著な箇所(中央道等)について、今後、ワーキンググループ(WG)を設立し、優先的に取り組む

中央道渋滞ボトルネック検討WG

H25.12

第1回 中央道 渋滞ボトルネック検討WG

- 中央道(高井戸IC～上野原IC)の渋滞状況、問題意識の共有 等

H26.6

第2回、第3回 中央道 渋滞ボトルネック検討WG

- 渋滞状況や渋滞要因(サグ部の速度低下等)の分析 等

H27.3

第4回 中央道 渋滞ボトルネック検討WG

- 調布付近(上り線)、小仏付近(上り線)の具体的な対策(案)、
- 中央道(下り線)の渋滞状況、問題意識の共有 等

相模湖付近

調布付近

第5回WG
検討内容

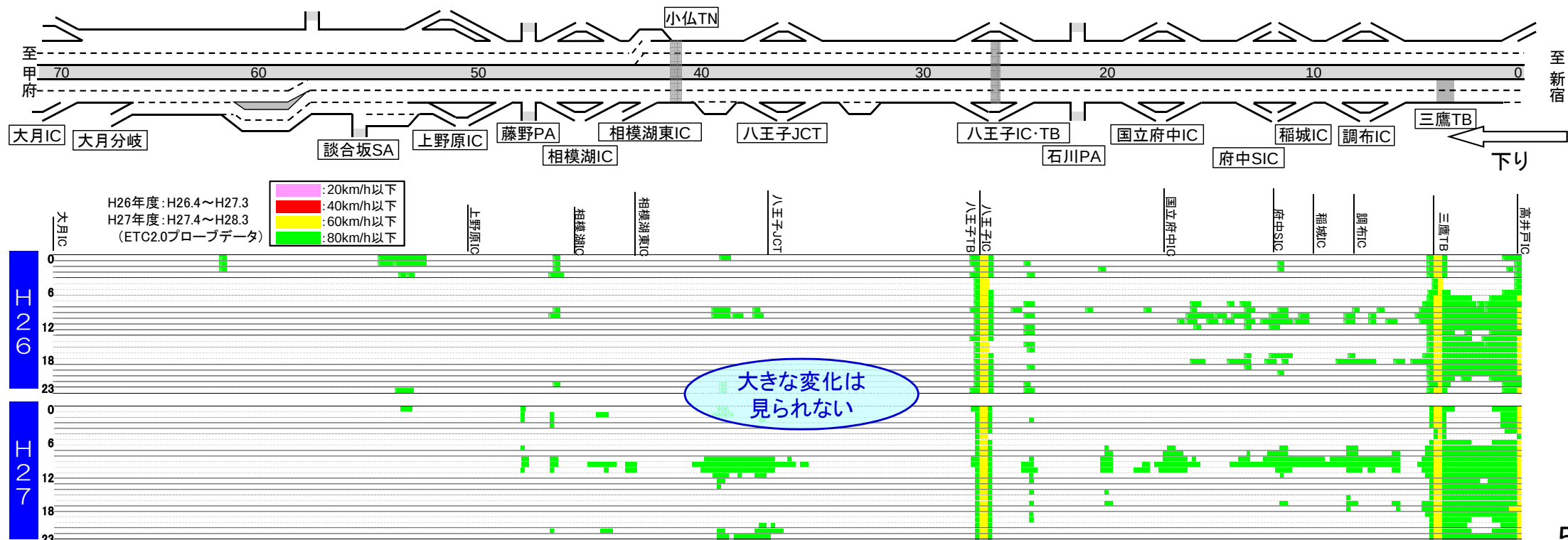
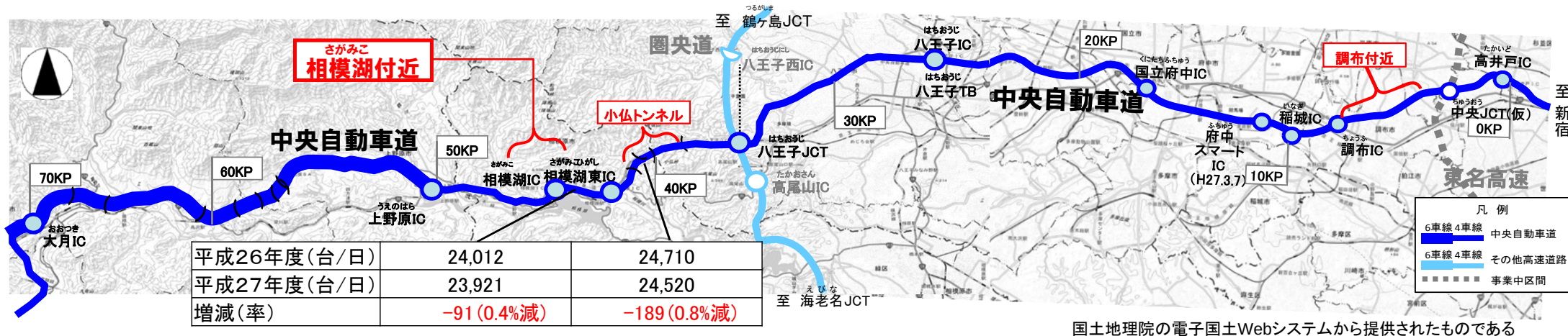
- 渋滞要因の分析
- 具体的な対策(案)の提示

- 付加車線設置 H27.12
- 付加車線設置後の効果

2. 相模湖付近(下り線)の渋滞要因の分析と 具体的な対策(案)について

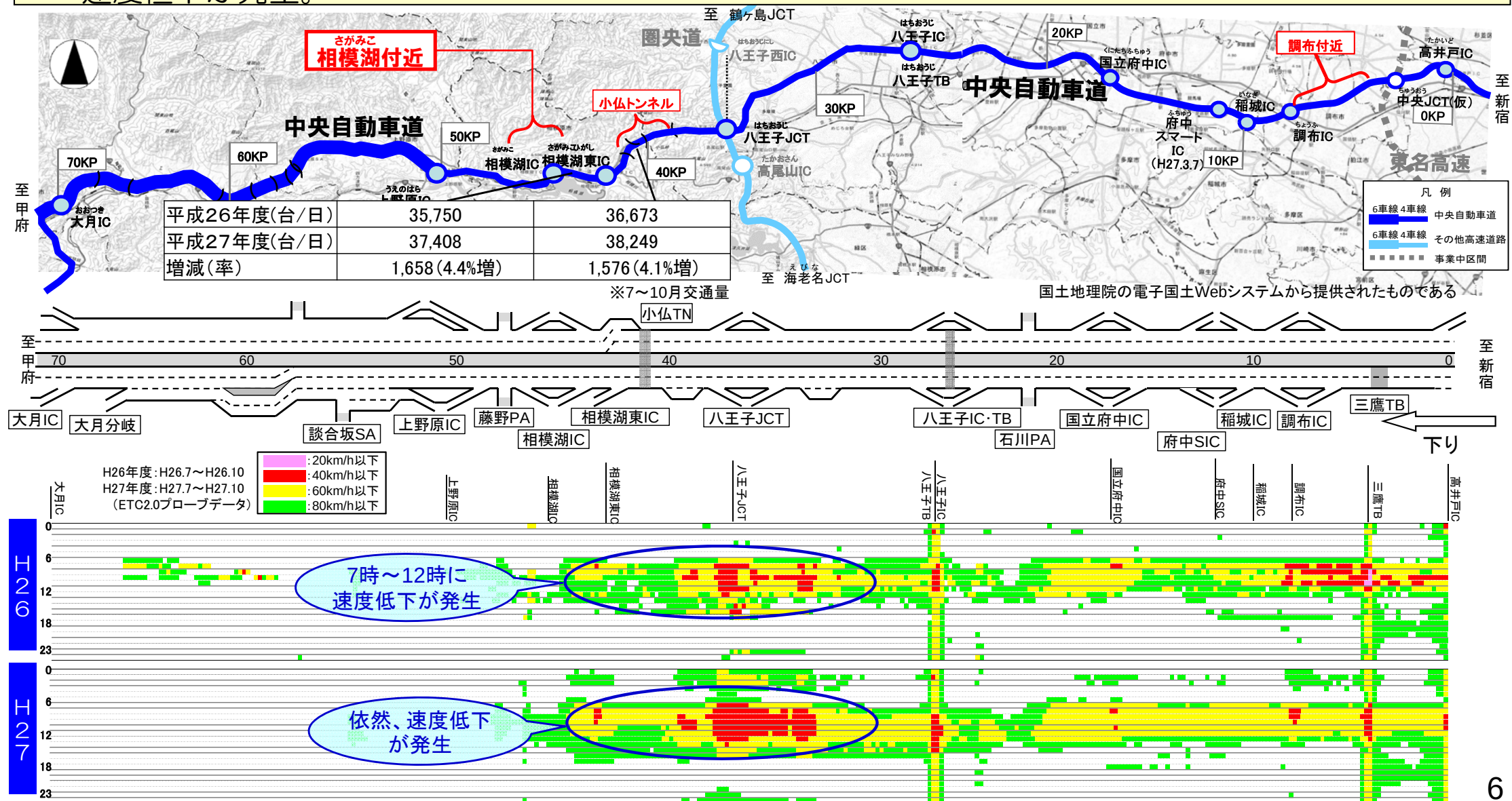
平日(下り線)の交通量及び旅行速度(渋滞)の状況

- H26年度とH27年度を比較し、高速ネットワークの変化(H27.10圏央道桶川北本IC～白岡菖蒲IC間開通等)等により交通量は微減しているものの、旅行速度に大きな変化は見られない。



休日(下り線)の交通量及び旅行速度(渋滞)の状況(観光シーズン)

- H26年度とH27年度を比較し、高速ネットワークの変化等により、交通量は増加しているものの、旅行速度に大きな変化は見られない。
- 観光シーズン(7~10月)においては、依然として、相模湖付近を先頭に八王子JCT付近まで速度低下が発生。

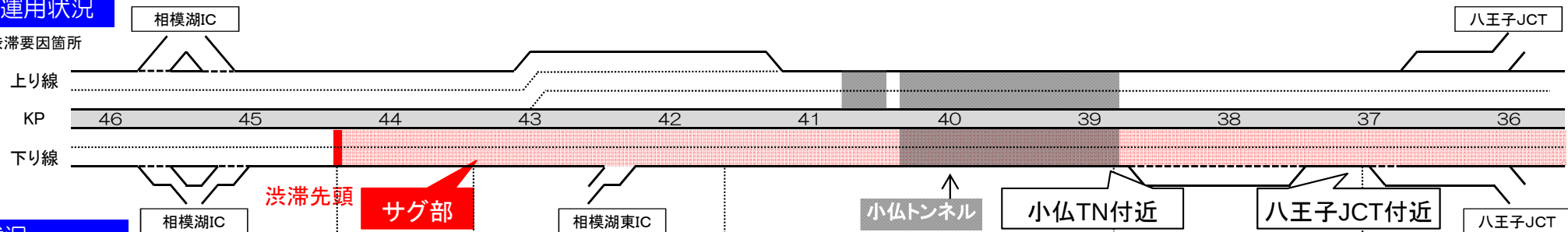


相模湖付近(下り線)の渋滞要因(観光シーズン(土曜日))

- 特に観光シーズンの土曜日においては、各箇所での速度低下が顕著。
- サグ部により相模湖付近を先頭に、速度低下が発生し、八王子JCT～小仏TN付近まで伝搬。

車線運用状況

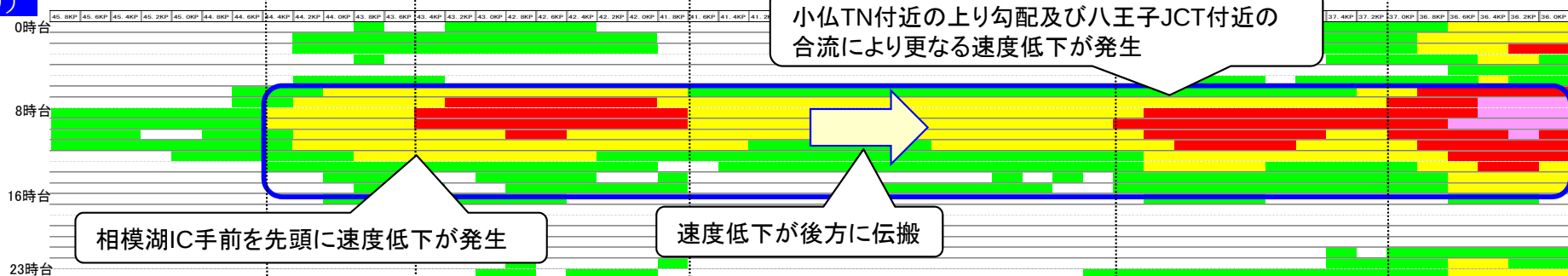
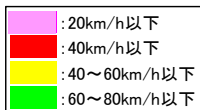
渋滞要因箇所



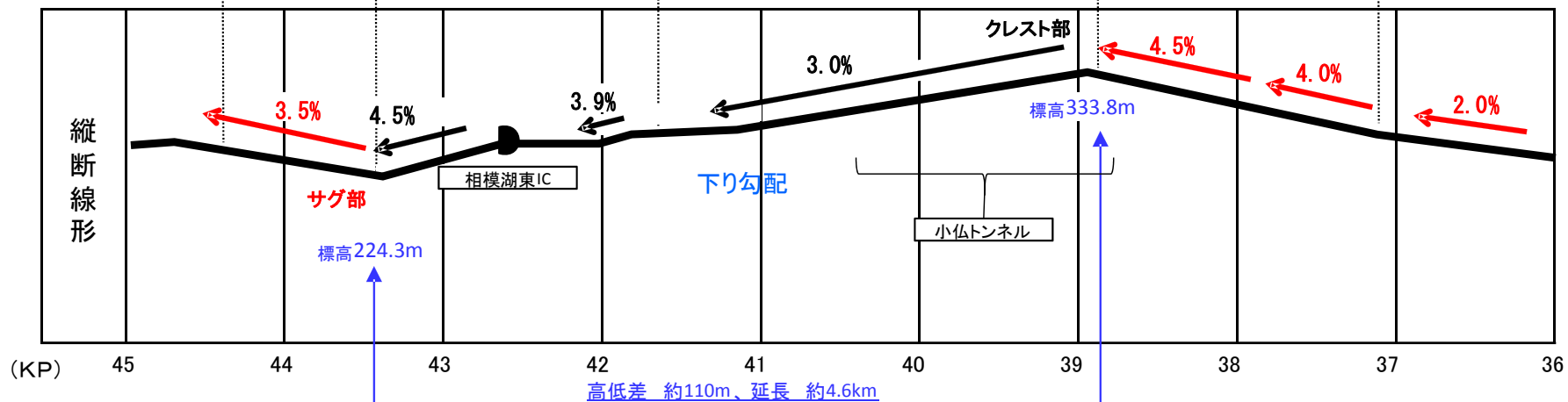
渋滞状況(土曜日)(下り)

ETC2.0プローブデータ
(平成27年7月1日
～平成27年10月31日)

下り(進行方向)



縦断勾配

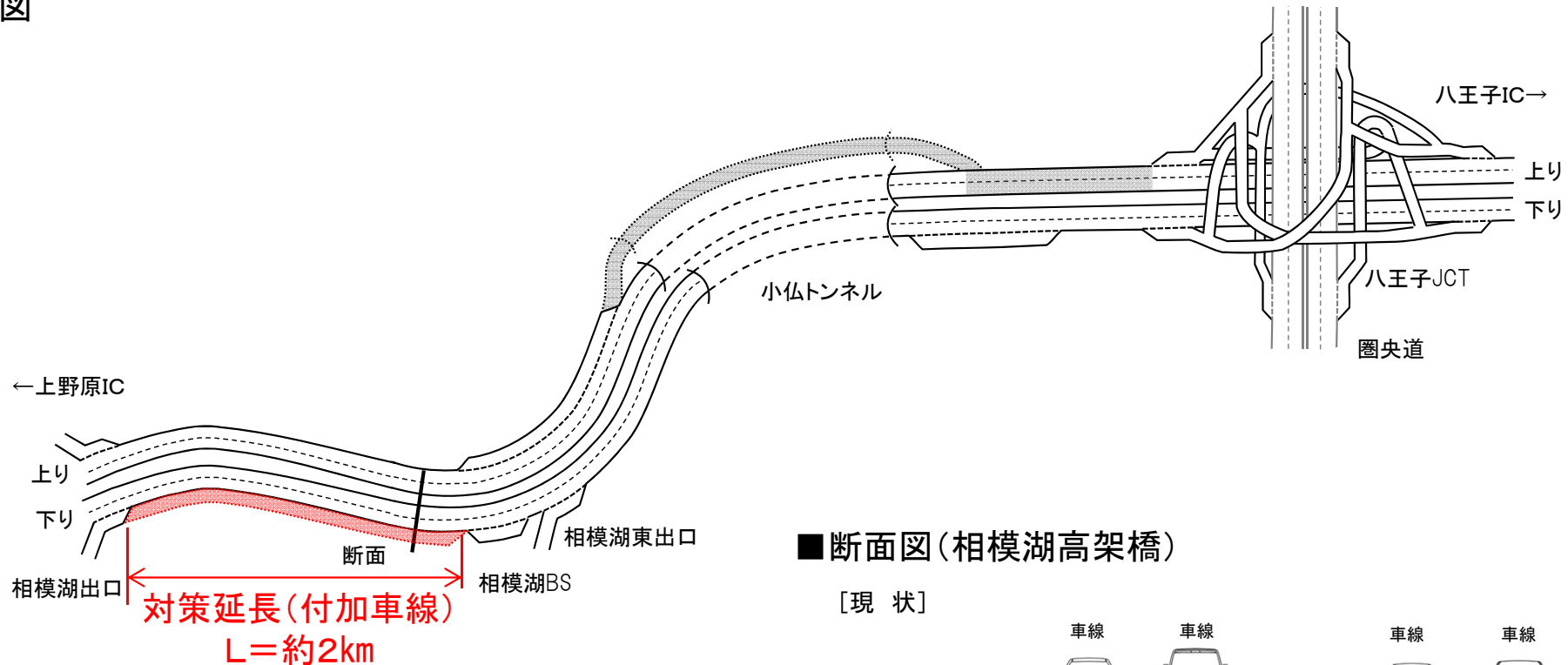


相模湖付近(下り線) 対策(案)

NEXCO

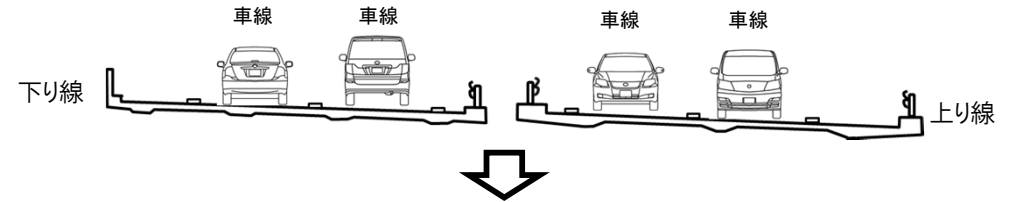
- 相模湖付近における上り勾配等によって局所的に発生している一時的な交通容量の低下を回復させるため、付加車線を設置。
- 今後、関係機関との協議を進め、準備が整い次第、工事に着手。※

位置図

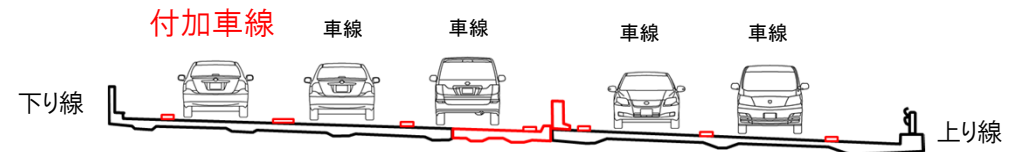


断面図(相模湖高架橋)

[現状]



[対策後]

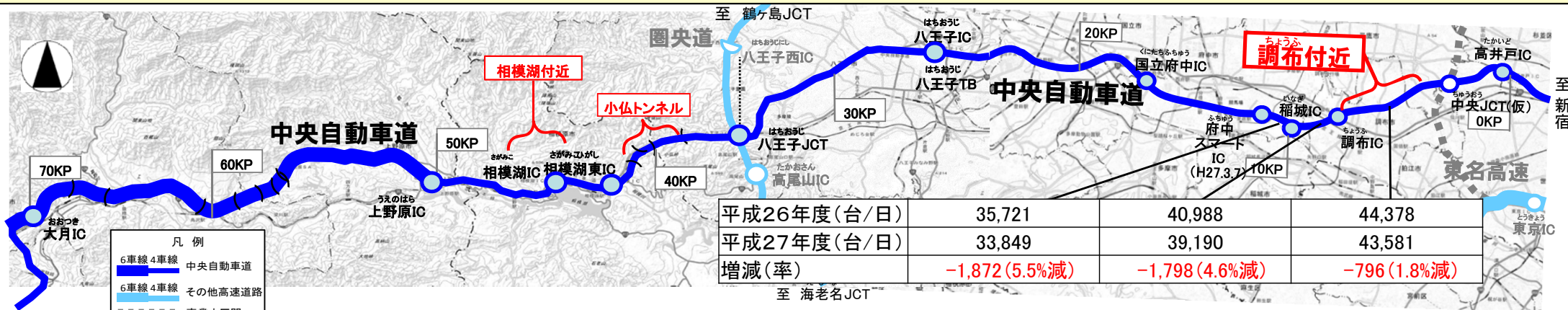


※事業実施段階で、用地取得や施工に一定の時間が必要

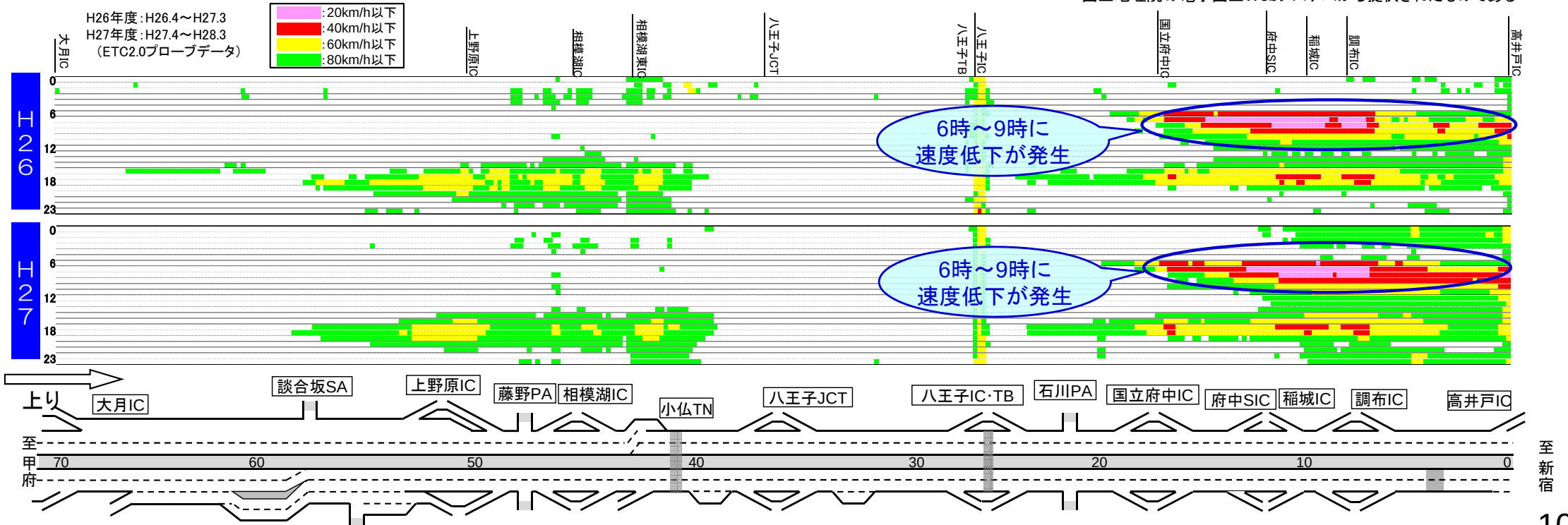
3. 調布付近(上り線)の交通状況について

平日(上り線)の交通量及び旅行速度(渋滞)の状況

- H26年度とH27年度を比較し、高速ネットワークの変化等により、交通量が減少しているものの、旅行速度に大きな変化は見られない。
- 調布付近では、依然として、午前中を中心に深刻な渋滞が発生。

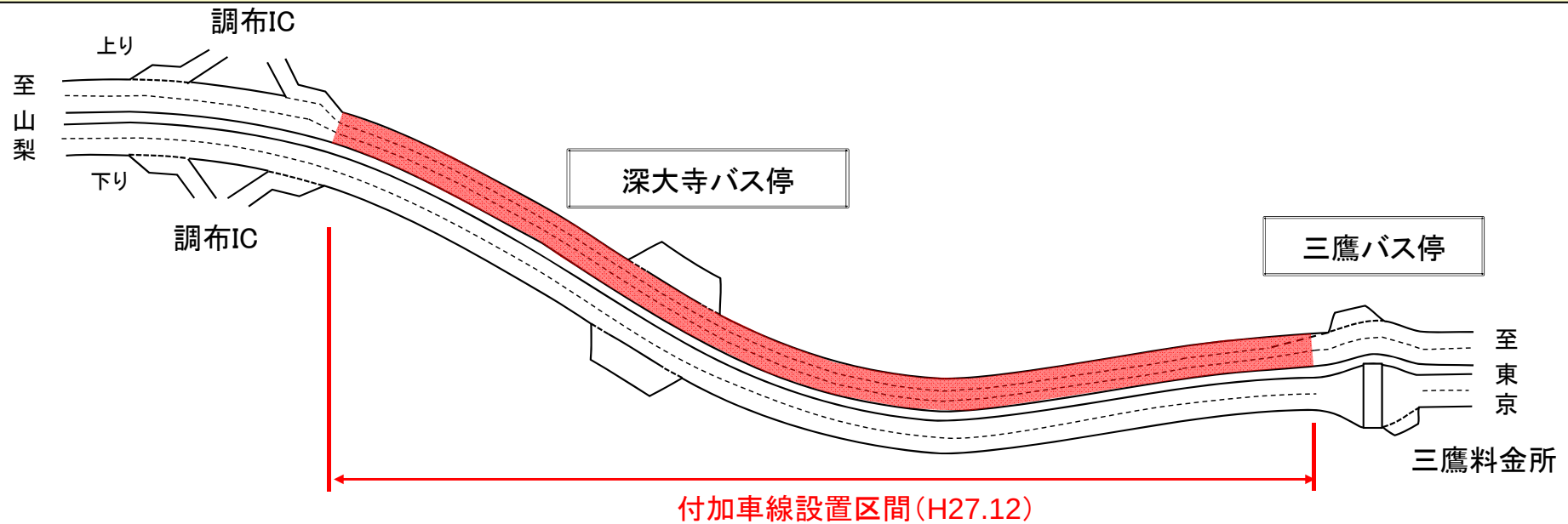


国土地理院の電子国土Webシステムから提供されたものである

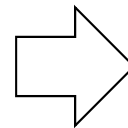


調布付近(上り線)H27.12渋滞対策内容

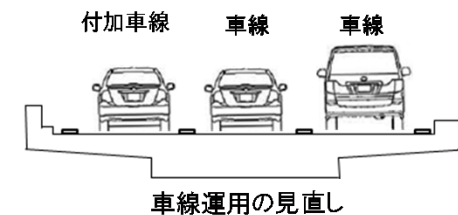
- 調布付近(上り線)について、既存幅員の中で車線運用を見直し、H27.12付加車線を設置。



■ 対策前



■ 対策後

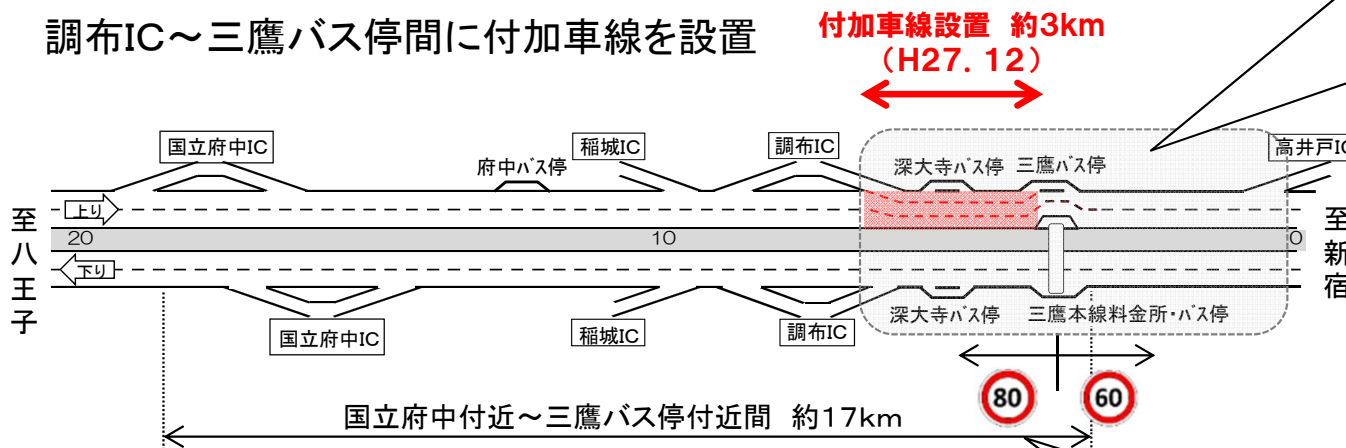


中央道 上り線(調布付近)付加車線設置の効果

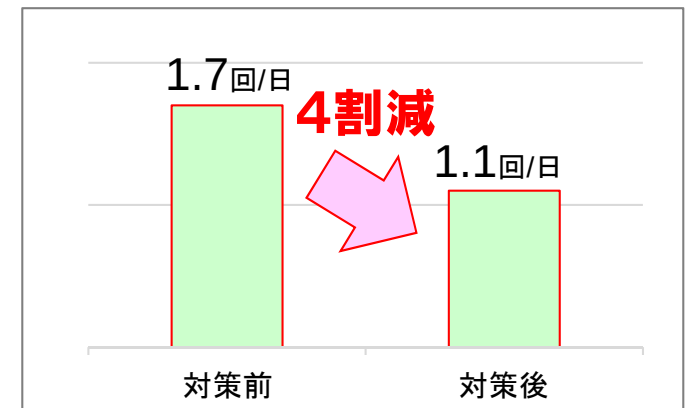
- 三鷹バス停付近、深大寺バス停付近を先頭とする平日の渋滞発生回数が4割減
- 国立府中IC～深大寺バス停の混雑区間における平日の混雑時間帯の所要時間が3割短縮(26分⇒17分)
- 三鷹バス停付近を先頭とする渋滞が残るため、引き続きワーキンググループにおいて対策を検討

■ 対策概要

調布IC～三鷹バス停間に付加車線を設置

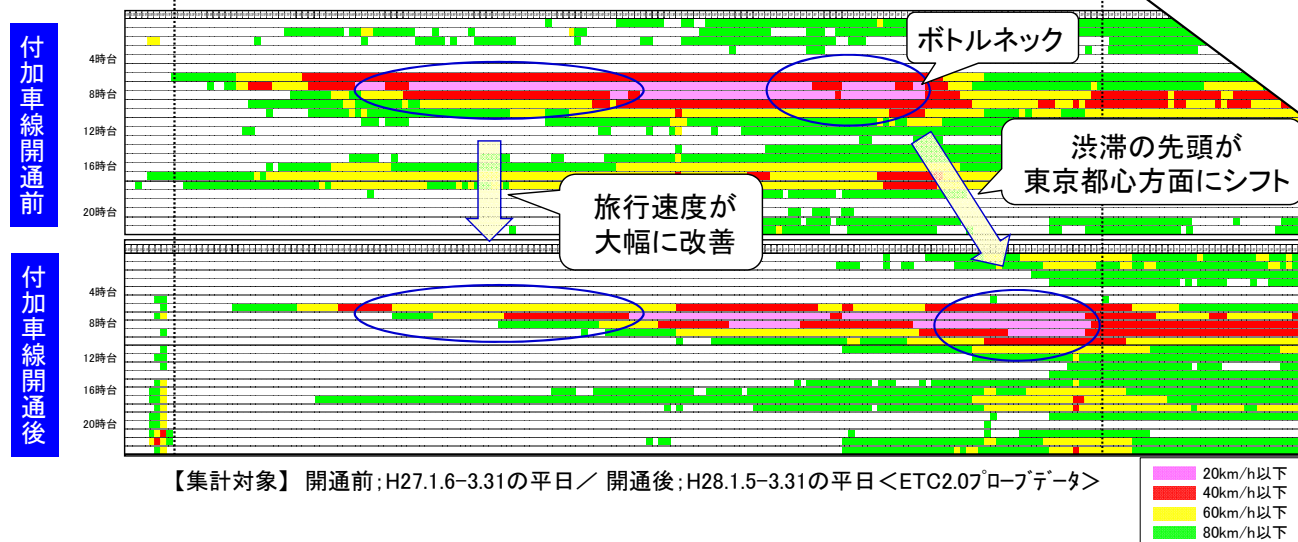


○ 渋滞発生回数(平日)

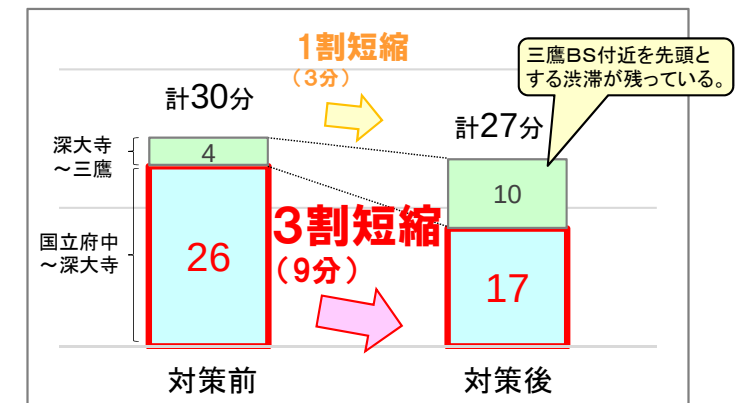


【集計対象】 開通前; H27.1.6-3.31の平日 / 開通後; H28.1.5-3.31の平日
<NEXCOトラフィックカウンターデータ>

■ 旅行速度(平日、上り)



○ 混雑区間における所要時間(平日6～10時台)



【集計対象】 開通前; H27.1.6-3.31の平日 / 開通後; H28.1.5-3.31の平日
<ETC2.07プローブデータ>

＜参考＞

第4回WGにおける主な意見とその対応

<参考>第4回WGにおける主な意見とその対応

主な意見	対応
・調布付近、小仏TN付近いずれも、すみやかに事業に着手してほしい。	・調布付近については、付加車線を設置し、平成27年12月25日より車線運用開始。
・調布付近の対策については2020年度の東京オリンピック・パラリンピックまでに対策を完了してほしい。	・小仏トンネルについては、H27. 8に事業許可となり、現在鋭意進めているところ。
・圏央道(相模原愛川IC～高尾山IC)開通前後で、八王子IC～国立府中IC間、相模湖IC～相模湖東IC間など渋滞回数や渋滞量が増減している原因について、引き続き調査、分析を進めてほしい。	・H26年度、H27年度の交通状況进行分析。 ※相模原愛川IC～高尾山IC間：H26年6月開通 （相模原ICはH27年3月開通） ※桶川北本IC～白岡菖蒲IC間：H27年10月開通